

医療安全管理室

Patient Safety Unit

医療安全管理室長

松村 由美



納得のいく医療をめざし 患者さんと医療者をサポートします

「リスクマネジメント」「コンフリクトマネジメント」「クライシスマネジメント」の3つの活動に主に取り組んでいる。

- ①リスクマネジメント: リスクの認識と対策立案、モニター・インシデント報告の分析、インシデント報告から学ぶ、学生やスタッフに患者安全の教育を行う
- ②コンフリクトマネジメント: 患者さんと職員間の対話の仲介(特に有害事象発生後)
- ③クライシスマネジメント: 重大事故発生後の患者さんあるいは家族への対応、事故の原因調査、明らかな過失が判明した場合の謝罪

業務内容の特徴と実績

医療安全や事故防止活動を展開

医療安全管理室は2001年4月に設置された。2013年度現在、松村由美医師(室長)、辻田麻衣子専従看護師長(GRM)、福村宏美副看護師長および医療サービス課医療安全掛事務7名から構成される。河合優美子副看護部長は副室長を兼任している。

2012年度の実績は次の通りである。インシデントレポート件数9,915件(うち医師から483件)、マニュアル・対応指針の作成(改訂)19件、医療安全に関する院内講習会28件、医療安全情報19回、転倒転落事故防止情報6回配布、調査委員会 5件、事例調査報告書(2012年度完成)6件、講演活動6件[国際医療リスクマネジメント学会(東京、6月)・京都府看護協会(6月、8月)・京都皮膚科医会(1月)・宇治徳洲会病院(2月)(以上、松村)・京都府看護協会(6月、12月)(辻田)]、学会発表2件[医療の質・安全学会・日本医療コンフリクトマネジメント学会(松村)]、著書1件[辻田麻衣子、静脈注射・輸液管理に関する安全管理の知識、臨床看護 38:839、2012.5]

職種別レポート数(2012.4.1~2013.3.31)

看護師	8,457件	85.2%
医師	483件	4.8%
薬剤師	305件	3.1%
栄養管理士	236件	2.3%
放射線技師	121件	1.2%
理学療法士	62件	0.3%
事務職員	114件	1.1%
検査技師	102件	1.0%
臨床工学士	19件	0.19%
その他	16件	0.16%
計	9,915件	



インシデントレポート数の推移 (05 ~ 12年度)



地域医療の取り組み

医療安全を広く啓発

当室長の松村は以下のシンポジウムにシンポジストとして参加した。

医療安全に関するシンポジウム: 医療事故情報センター総会記念シンポジウム(2012.5、名古屋市)、医療安全シンポジウム(2012.11、京都府看護協会主催)、第10回医療安全シンポジウム(2013.2、京都府医師会主催)。

また、京都大学は滋賀医科大学とともに第16回京滋医療安全研究会(2012.7、京都市)を主催した。松村は、京都府看護協会医療安全委員会・京都府地域医療支援センター女性WGの委員を1年間務めた。